学校番号	323

令和８年度　芸術科　（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	ワークシート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小中学校の書写で学んだことを発展させ、芸術科書道では幅広い多様な書の表現を学びましょう。
漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の三分野の、臨書・鑑賞・創作を体験学習します。
書道への関心意欲を高め、身近に飾れる作品も作ることで達成感を味わい、暮らしに書を生かし、生涯にわたって書を愛好する心情をはぐくみましょう。
授業に積極的に参加することにより、成果が上がります。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することをめざす。
【知識及び技能】
書表現の多様性を理解し、作品を効果的に表現する技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
書の文化への思考を深め、意図に基づいて工夫し表現する技能を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
書の良さを感受し主体的に書の表現と鑑賞の幅広い活動に取り組む態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写から書道へ	・オリエンテーション ・筆の性能を知る ・起筆の角度と線質 ・楷書の基本 （永字八法による基本用筆）	a:高校書道で学習すること、小中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 b:基本用筆・運筆・字形について構想し工夫している。 c:関心意欲を持ち。主体的に書の学習活動に取り組もうとしている。	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 作品ファイル
	漢字の書（楷書）	・文字の造形を学ぶ（楷書） ・唐の四大家 ・九成宮醴泉銘臨書 半紙臨書 半切1/2　二行書臨書	a:古典に基づく用筆運筆の技能線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 b:古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 ワークシート 作品ファイル
2学期	漢字創作と簡易篆刻	・漢字創作をする（うちわ両面に作品を仕上げる） 書体辞典の活用 発砲スシロール印作成 文化祭展示 鑑賞会	a:書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 篆刻の手順について理解している。 b:　意図する書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 c:　主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 鑑賞会レポート 作品ファイル

	漢字の書(行書	・文字の造形を学ぶ(行書) 蘭亭の序 蘭亭の序とは 受け継がれてきた蘭亭の序 印でわかる古典の真価 蘭亭の序　半紙四字臨書 蘭亭の序　半切二行臨書	a:行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 b:　行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している c:　主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 作品ファイル
	仮名の書の基本	仮名の成立 仮名の用具用材 仮名の基本用筆 単体･連綿･変体仮名 仮名表現を生かした年賀状	a:連綿と単体、線質や字形を生かした表現の技能を身につけている。 b:　仮名の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について工夫している。 c:　主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品
3学期	仮名の書の創作	小倉百人一首仮名創作 ・単体創作 ・連綿創作 ・変体仮名を活用した創作 ・散らし書き ・サイズを縮小してかるた形式まで ・カレンダーに仕上げ貼り ・カレンダー鑑賞会	a:線質や書風と用筆･運筆との関わりについて理解している。 b:仮名の書風に即した用筆・運筆、字形全体の構成について構想し工夫している。 c:　主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 ワークシート	学習活動の様子 提出作品 カレンダー 鑑賞会
	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書とは 好きな言葉を書こう 表現の幅を広げよう	a:目的や用途に即した表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 b:意図に基づいた表現、現代に生きる表現や名筆を生かした表現について構想し工夫している。 c:　主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品	学習活動の様子 提出作品 作品ファイル

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度